

9月10日

国際感覚に富んだ人材育成・地域づくりを目指して 第24回トークシリーズを開催

文化の違いに興味津々



てしかが国際交流会主催のトークシリーズが9月10日、川湯ふるさと館で開催されました。同会は多彩なゲストによるトークと各地の食文化を楽しむトークシリーズを開催しています。

今回のゲストは本町に外国語指導助手として着任しているアラン・ウィットマンさん。通訳は恵美子スパークスさん。自身の生い立ちや、出身地であるアメリカ ミズーリ州の気候・文化などについて日本との違いを交えながらトークを行いました。当日は40人が来場。アランさんのお話に皆さん驚いたり、関心したりしながら聞き入っていました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

9月23日

親しめる行事で防火意識を高揚 第4回かわゆしょうぼう開放日を開催

はしご車に体験乗車



第4回かわゆしょうぼう開放日が、弟子屈消防署川湯支署・川湯消防団の主催で9月23日、川湯支署庁舎前で開催されました。

10月15日～31日までに実施される秋の火災予防運動に前に、親しめる行事を通し防火意識を高めてもらうことを目的に開催。町民など150人あまりが参加しました。当日は、秋のさわやかな天気の中、はしご車への体験乗車、防火衣を着て放水体験などが行われ、川湯小学校の児童による川湯ばやしなども披露されました。

9月19日

北海道小学校バンドフェスティバル全道大会へ 弟子屈小学校吹奏楽少年団が表敬訪問

全道大会に出場した少年団の皆さん



北海道小学校バンドフェスティバルで全道大会に出場した弟子屈小学校吹奏楽少年団の皆さんが9月19日、弟子屈町役場を表敬訪問しました。9月10日に行われた第36回北海道小学校バンドフェスティバル釧路地区予選において見事金賞に輝き、9月23日に苫小牧市で開催された全道大会に出場しました。全道大会では銅賞受賞。訪問時には教育長、副町長とともに笑顔での記念撮影となりました。

北海道小学校バンドフェスティバルで全道大会に出場した弟子屈小学校吹奏楽少年団の皆さんが9月19日、弟子屈町役場を表敬訪問しました。9月10日に行われた第36回北海道小学校バンドフェスティバル釧路地区予選において見事金賞に輝き、9月23日に苫小牧市で開催された全道大会に出場しました。全道大会では銅賞受賞。訪問時には教育長、副町長とともに笑顔での記念撮影となりました。

9月24日

14年の歴史に幕 第8回 更科源藏文学賞贈呈式

受賞作品から「丘と兵」を朗読



生活者の視点で創作をしている詩人に贈られる更科源藏文学賞の贈呈式が9月24日、更科源藏文学資料館で行われました。同賞は熊牛原野に生まれた詩人・郷土史家・アイヌ文化研究家として活躍した更科源藏の功績をたたえ平成15年に創設されたもの。

今回は浜江順子さん(東京都)の詩集『密室の惑星へ』が受賞。記念演奏も行われ、更科源藏作詞の校歌を川湯小学校・和琴小学校・川湯中学校・弟子屈中学校の児童生徒が披露。バリトン歌手の大久保光哉さんが6作品を独唱し、式の最後には来場者全員でふるさとを合唱しました。

9月24日

出し物やバザーで誰でも楽しめる 第7回ふれあい祭りを開催

親子連れなどでにぎわった会場



ふれあい祭り実行委員会主催(藤原敏和実行委員長)の第7回ふれあい祭りが9月24日、町社会福祉老人センターで行われ、多くの来場者でにぎわいました。

障がいがあってもなくても、子どもでもお年寄りでも楽しめるお祭り。今年もステージでの出し物やバザーコーナー、ゲームコーナーなどが用意され、餅つきで振る舞われたお汁粉や出店での軽食を味わったり、リコーダーやダンス、バトンのステージを鑑賞したりと皆さん思い思いに楽しんでいました。お祭りの最後には、会場の誰でも参加できる手話コーラスも行われました。

地域の役に立ちたい 社会貢献いろいろ



明盛建設(株)(藤田利道代表取締役)の皆さんが9月20日、「みはらし台こども館」駐車場の路盤整備を行いました。こども館を利用する皆さんに喜んでもらえればとの思いから行われたもので、駐車場の砂利が車道に散乱しないよう、作業員5名で再生路盤材を敷設しロードローラーで丁寧に転圧しました。



川湯小学校での伐採作業



てしかがの蔵での伐採作業

今井林業(株)(西村良雄代表取締役)の皆さんが10月13日にはアイヌ民俗資料館、14日には川湯小学校、21日にはてしかがの蔵周辺の倒木の危険のある枯れ木の伐採を行いました。校舎、道路への倒木などの危険があり、心配されていましたが、大型重機などを使用し、危険な樹木はきれいに伐採されました。



株佐々木建設(佐々木泰三代表取締役)、クニオカ工業(株)(今誠代表取締役)、株上田組(上田光夫代表取締役)の3社の皆さんが10月20日、町道美留和石狩別線支障木の伐採を行いました。地域に貢献したいとの思いからはじめられたもので、今年で3年目。今年は10人が参加し、手際よく木を伐採していました。

成人式の会場が町公民館になります

町成人式は例年摩周観光文化センターにて開催していましたが、今回より町公民館で開催します。お間違いのないようお願いいたします。対象者は、平成9年4月2日から平成10年4月1日に生まれた方です。

町外に住民票を移されている方も参加できますので、参加を希望される方はご連絡ください。

▶開催日/平成30年1月7日(日) ▶会場/町公民館 ▶日程/14時 受付 14時30分 式典開始

問い合わせ先/役場教育委員会社会教育課 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 8 (課直通)

10月11日
**雪が降っても花を楽しんでほしい
 フラワーマスター協会が花壇の花を入れ替え**



色の配色などバランスを考えながら
 摩周フラワーマスター協会(渡邊昇会長)の皆さんが10月11日、役場庁舎前花壇の花の植え替えを行いました。
 冬の到来を前に、春からこれまで花壇を彩り時期が終わった花を取り除き、寒さに強いハボタンを植えました。耐寒性に優れ、雪の中でも美しい色の葉を楽しめます。会員の皆さんは手分けして丁寧に紫や白のハボタンを植えています。

10月9日
**未来に繋がる森づくり
 シーニックバイウェイが植樹祭を開催**



大きく育てて願いをこめて
 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ(桐木茂雄代表)が10月9日にそらの森(弟子屈飛行場跡地)で植樹祭をおこないました。
 この取り組みはドライブ観光等で排出されるCO₂を吸収する「カーボン・オフセット」の森づくり活動の一環として行っているもので、弟子屈ロータリークラブ(小澤慎司代表)や一般の方など町内外から66人が参加。シラカバ・マカバ・アカエゾマツなどの苗木を約200本植樹したあと、木育教室でカッティングボードを作りました。小雨が降っている中、参加者は協力し合いながら植樹作業を行っていました。

9月24日
**ばん馬の迫りに歓声が
 摩周湖ばん馬大会を開催**



小さな体で力強い手綱さばき
 第9回摩周湖ばん馬大会が摩周湖馬友の会主催(近江屋茂会長)で9月24日、摩周馬場で開催されました。
 ばん馬文化の継承と地域活性化を目的に毎年開催されています。天気に恵まれなかったものの、多くの来場者でにぎわいました。今年も道内各地からばん馬が集まり、馬齢や重量別の階級に分かれて白熱のレースを展開。また、中学生以下のお子さんによるポニーレースも行われたほか、ふれあいコーナーや抽選会などのイベントも用意され、来場者の皆さんは思い思いに大会を楽しみました。

カメラスケッチ
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



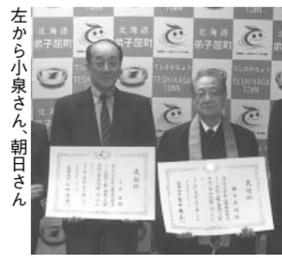
まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

10月12日
**詐欺被害に遭わないように気をつけよう
 泉喜楽会が警察署員を講師に講演会開催**



寸劇を熱心に見る皆さん
 老人クラブ泉喜楽会(久保日出雄会長)の皆さんが10月12日、警察署員を講師に迎えて講演会を開催しました。
 高齢者がターゲットとなりやすい特殊詐欺被害を未然に防ぐため、いざというときの対応などを学ぼうと開催されたもので、31人が参加。講師は弟子屈警察署生活安全課の田村智警部補。「最近の新しい犯罪手口」と題し、架空請求やオレオレ詐欺などの不審電話への対応について寸劇での実演で説明。不審電話には「いったん切って冷静になる」「家族・警察に相談する」ことが大切との説明に、参加者の皆さんは熱心に聴き入っていました。

10月12日
**長年の人権擁護活動に対する功績をたたえ
 朝日英明さん、小泉裕さんへ法務大臣感謝状**



左から小泉さん、朝日さん
 長年、人権擁護委員として活動し、今年の6月に退任した朝日英明さんと、同じく9月に退任した小泉裕さんに、法務大臣からの感謝状が贈られました。贈呈式は10月12日、役場で行われ、釧路地方法務局の田湯人権擁護課長から感謝状が手渡されました。
 朝日英明さんは昭和58年9月から平成29年6月までの11期33年、小泉裕さんは平成23年4月から平成29年9月までの2期6年にわたり人権擁護委員として活躍。人権擁護活動と人権思想の普及・高揚に功績があったとして、今回の贈呈となりました。

9月29日
**多くの知識を身に着け、サービスの向上を
 介護職員初任者研修閉講式**



笑顔で修了証を受け取る受講者
 町では、7月28日からおよそ2か月間に渡り介護職員初任者研修を実施しました。これは、介護職員の人材育成の一環として行ったもので、町内各事業所から6人の介護職員が参加しました。研修は、講義や実技など、およそ100時間と通信添削3回。受講者の中には、当直明けで臨む方もいました。
 閉講式では、全員に修了証が手渡され、有資格者となった皆さんの良質な介護サービスの提供が期待されます。今後は、高校生などの人材育成にも取り組んでいく予定です。

9月28日
**飲酒運転をしない、させない、許さない
 「飲酒運転根絶キャラバン」を実施**



加門事務局長(右)から啓発品が
 公益社団法人北海道交通安全推進委員会による平成29年度飲酒運転根絶キャラバンのセレモニーが9月28日、役場前憩いの広場で行われました。
 同委員会は8~10月の間キャラバン隊を編成し、道民の飲酒運転根絶への意識向上を図るため、全道各地域を広報テープを流しながら巡回し啓発活動を行っています。
 セレモニーでは、副町長があいさつで「秋の行楽シーズンに加え、収穫・工事で大型車両も多い。地域一丸となって取り組んでいきたい」と話し、加門清事務局長から啓発品を受け取りました。

10月17日
**一流シェフがプロの技を伝授
 親子食育実習を開催 | 美留和小学校**



藤田シェフとみじ切りに挑戦
 食事について親子で考える機会にと、10月17日に美留和小学校(伊藤賢次校長)で親子食育調理実習が行われました。
 講師はホテルポルスター札幌で総料理長を務める藤田伸幸シェフ。学校での指導は初めてのこと。野菜の上手な切り方や種類・栄養素などを紹介しながら、朝食におすすめの野菜たっぷりのチャウダーとスパニッシュオムレツの作り方を指導しました。7人の児童と保護者・教員などを含め19人が参加。藤田シェフの包丁・フライパンさばきには歓声が上がリ、それを見た児童も一生懸命包丁を使い上手に調理しました。

10月14日
**登山道も冬支度を
 藻琴山登山道でロープの撤去作業**



手際よく丁寧に作業
 川湯エコミュージアムセンターを拠点に活動を行っている摩周・屈斜路パークボランティア(金井秀明会長)の皆さんが10月14日、藻琴山登山道のロープ撤去を行いました。
 毎年、登山道のロープは土砂崩れが起きやすい場所や、希少植物が群生している箇所などに立ち入らないよう注意を促すため張られています。初夏に張られたロープを積雪前の今の時期に撤去します。この日はとても天気が良く、山頂では美しい景色を眺めることができました。いざ作業が始まると皆さん集中して取り組んでいました。また、同時に支障枝も一部撤去したため、登山道も歩きやすくなりました。

10月8日
**屈斜路湖のためにできることを
 KFCが和琴半島で清掃活動**



流木などを丁寧に撤去する参加者
 KFC(屈斜路フィッシングクラブ・北林勉会長)の会員30人が10月8日、和琴半島で清掃活動を行いました。
 同活動は今年で3回目。屈斜路湖での釣りを愛する道内外の会員が各地から駆けつけ、湖畔の流木やゴミなどの清掃活動を行いました。
 会員の皆さんは「屈斜路湖のために、釣り人である自分たちが、今後でもできることをコツコツ行っていきたい」と話していました。

10月5日
**登山道の安全を保つために
 摩周岳登山道で今年度2回目のササ刈り**



手分けして懸命に作業
 川湯エコミュージアムセンターを運営している屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会(会長・徳永町長)を中心とした関係機関の皆さんが10月5日、摩周岳登山道の整備を行いました。
 登山道をより歩きやすくするため、毎年初夏と秋の2回登山道入り口から頂上までの片道約7.2キロの区間で行われています。4グループに分かれ摩周岳を登り、下山と同時に前日に刈られていたササを登山道中央部に寄せ集めていきます。すれ違う登山者からは「歩きやすかった」「頑張ってください」など参加者を応援する声が聞かれました。